

第10回 市健全育成 推進大会

野球を通して学んだこと

僕は、野球が大好きです。将来の夢は、プロ野球の選手になることです。



僕は、四年生の六月から岩根野球スポーツ少年団に入部しました。野球を始めたきっかけは二つありました。一つ目は、会社のソフトボールチームに所属していたお父さんの影響です。小さい頃から、お父さんとキャッチボールをしたり、プロ野球を見たりにしていたので、僕も野球をやってみたいと思いました。

二つ目は、友達に誘われたからです。友達は、一年生の頃から野球をやっていて、投げるのも打つのも、とても上手でした。僕も友達のようになりたいと思いました。僕が入部して二週間が過ぎたころ、岩根野球スポーツ少年団のユニホームを渡されました。白い生地、地に青色で、「Iwane」とロー

とき

11月27日(日)
午前10時

ところ

サンライズもとみや

マ字でかっこよく書いてありました。僕はうれしくて家に帰ってから、ユニホームを着てみました。その時、お父さんが、「似合ってるぞ。練習をがんばって、早く試合に出られるといいな。」

と写真を一枚とってくれました。八月に入ってすぐ、新人戦という大きな大会がありました。二年生から五年生までが出られる試合です。僕は、気合いを入れて、ユニホームを着て家を出ました。しかし、スタメンには入れず、ベンチで応援をしていました。「このまま、試合に出られずにおわるんだろな」と思っていたとき、監督から

「素振りしろ。」
と言われました。代打で試合に出ることになりました。僕は、一気にやる気がわいてきました。いざ、バッターボックスに立つと、緊張で足がふるえてきました。頭の中が、真っ白にもなりました。そんな僕を見て、チームのみんが「リラックス。リラックス。」

「大丈夫、打てるよ。」
「思いつきり、ふつてきな。」と声をかけてくれました。仲間の応援のおかげで、初めての試合でヒットを打つことができました。あの試合から2年。僕は六年生になり「ピッチャー」「キャッチャー」「サード」といろいろなポジションを守っています。最高学年として、指示を出したり、声を出したりしています。練習も、試合も、仲間と楽しくやっています。今までの練習や試合をふり返って、監督やコーチから、ずっと言

われ続けてきたことがあります。それは、「審判がファールというまです。僕は、自分でファールだと決めつけて、ボールを追わないと気がありました。また、はげしく飛んでくる打球、とりにくい打球、高く上がったフライをあきらめずとらないときは必ず、

「最後までしっかりボールを追え。あきらめたらそこで終わりだけど、あきらめなければとれるボールもたくさんあるはずだ。」と厳しく言われました。そう言われるたびに、「今度こそ絶対にとるぞ」と心の

中で思いながらプレーしてききました。

僕は、野球で学んだことがたくさんあります。一緒に練習し、はげまし合ってきた仲間の大切さ。最後まであきらめないということ。はげしく飛んでくる打球、とりにくい打球、高く上がったフライを追いつけるように、自分の立てた目標や夢に向かって、一生懸命取り組んでいきます。



堂々としていて、説得力のあるとても素晴らしい発表ができました。夢や目標の実現のためには何が大事なのかを、スポーツの経験を通して身

をもって学びとっているのがR君の強みですね。これからも仲間を大切に。そして、夢を実現できるように、頑張ってください。

入賞おめでとう

第84回全国書画展

○特選

2年

2年

2年

2年

2年

○金賞

2年

2年

2年

2年

2年

第62回青少年読書感想文福島県コンクール

○佳作

2年

第27回南達交通安全作文コンクール

○佳作

2年

第6回「大山賞」小中学生絵画コンクール

○優秀賞

2年

○佳作

2年

